

製品安全データシート

製造者情報

会 社 アルタン株式会社
 住 所 東京都大田区東糞谷3-11-10
 担当部門 マーケティング室 開発企画課
 電話番号 03-3743-5705 FAX 番号 03-3743-5706

緊急連絡先 同 上

作成 平成18年 6月2日

整理番号 【078】

【製品名】 アルタン 炊飯ネット

【物質の特定】 単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 成分及び含有量 :

化学名	含有量 (wt%)	CAS NO.	化審法番号	労働安全衛生法	PRT法
ポリエチレンテレフタレート	—	25038-59-9	(7)-1022	通知対象外物質	非該当

【危険有毒性の分類】

分類の名称 : 分類基準に該当しない
 危険性 : 無し
 有害性 : 無し

【応急措置】

目に入った場合 : 眼球を痛めないように清浄な水で洗い流す。異常があれば、直ちに専門医の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 大量の水で洗い流す。皮膚に異常があった場合は、医師の診断を受ける
 吸入した場合 : 咳払い、うがい、息を勢いよく吹きだす事により体外にだす。異常がある場合、直ちに専門医の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口内を洗浄した後、多量の水を飲ませ希釈し、可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに専門医の手当てを受ける。

【火災時の措置】

消火方法 : 大規模の場合、燃焼中の製品は消火剤で消火すると共に、周囲を水噴霧で冷却する。
 小規模の場合、水、炭酸ガス、粉末（ドライケミカル）消火器で消火する。
 消火剤 : 水、炭酸ガス、粉末（ドライケミカル）消火器

【漏出時の措置】

- ・作業の際には、適切な保護具（保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。
- ・道路や床に飛散した場合には、足を滑らせ転倒する恐れがあるので、拾い集め回収又は廃棄する。

【取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い : ・特段の注意事項なし。
保管 : ・直射日光、高温多湿を避け、冷暗所に保管する

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 設定値なし
許容濃度 : 設定値なし
設備対策 : 繊維状であり、特段の注意事項なし
保護具 呼吸器の保護 : 不要
 目の保護 : 不要
 皮膚・身体の保護 : 不要

【物理／化学的性質】

- 外観 : 白色の繊維状
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲
 融点 : 250～270℃
 沸点 : 該当せず
密度 : 1.39
引火点 : 300℃以上
発火点 : 400℃以上
爆発限界 : 該当せず

媒に対する溶解性：水、一般溶剤には不溶

【危険性情報】（安定性・反応性）

- 安定性 : 常温、単独では安定
反応性 : 常温、単独では安定で、反応はない。

危険有害な分解生成物：なし

【有害性情報】

急性毒性

- ・経口 : 知見無し
- ・経皮 : 知見無し
- ・吸入 : 知見無し

亜急性毒性 : 知見無し

慢性毒性・長期毒性

- ・経口 : 知見無し
- ・吸入 : 知見無し
- ・経皮 : 知見無し

刺激性

- ・ 目 : 知見無し
- ・ 皮膚 : 知見無し

腐食性

- ・ 目 : 知見無し
- ・ 皮膚 : 知見無し

発ガン性 : 知見無し

変異原性 : 知見無し

催奇形性 : 知見無し

【環境影響情報】**生態毒性**

魚毒性 : 知見無し

環境下での

移動性 : 知見無し

残留性/分解性 : 知見無し

【廃棄上の注意】

廃棄方法 : 焼却又は産業廃棄物処理業者に委託。廃棄物の処理及び清掃に関する法律などの関連法規に従うこと。

【輸送上の注意】

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

国連分類 : 無し

国連番号 : 無し

国内規制 : 無し

【主な適用法令】

労働安全衛生法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

食品衛生法 : 該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 該当しない

その他

記載内容の問い合わせ先

アルタン株式会社

住 所 東京都大田区東糀谷 3-11-10

担当部門 マーケティング室 開発企画課

電話番号 03-3743-5705 FAX 番号 03-3743-5706

参考文献

社団法人日本化学会編 : 化学便覧 (改定4版)、丸善 (1993)

化学工業日報社 : 13700の化学商品

化学工業日報社 : 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版第3集 (1997)

【注意】

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の手扱いを対象としたものですが、特別な手扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、手扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。